

自作の環境制御装置を活用した高糖度ミニトマト栽培による高収益化 ～株式会社 千香音.firm～

経営体の概要

農業従事当初：平成元年頃

基幹作物：うめ、花き（ハウス）、
うすいえいんどう（露地）

経営面積：うめ1.5ha、ハウス7.5a、露地2a

現在：令和5年

基幹作物：うめ、ミニトマト（ハウス）
うすいえいんどう（露地）

経営面積：うめ5.0ha、ハウス7.5a、
露地2a

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【事業実施前】

●天水や谷水等の不安定な水源にたよっていた。

●畑地かんがい施設が未整備で、農業の近代化が図れなかった。



島ノ瀬ダム工事前



辺川頭首工改修前

【事業実施後】

●前歴事業（昭和48年度～平成7年度）で、島ノ瀬ダム等の新設、辺川頭首工の改修で、水源を確保。関連事業等において支線用水路の敷設やスプリンクラーを設置し、畑地への散水や防除等に使用でき省力化が図られた。

●本事業で老朽化した施設の改修等を実施することで引き続き農業用水を安定供給。

営農改善、経営転換等のポイント

①栽培技術の確立

国営土地改良事業等で整備された農業用水を利用し、うめは点滴かんがいによる小水での栽培を実施している。点滴かんがいにおいてもうめの実の太りを実感。

ハウス内の環境制御技術を独学で習得。環境制御装置を自作し、ミニトマト栽培のかん水量を制御して、高糖度のミニトマトを栽培。収穫された高糖度のミニトマトは近隣に同様な栽培者がおらず、差別化が図られている。

うめの剪定枝を炭化し、土壌改良剤としてハウス内の土壌に投入するなど、温室効果ガス削減に向けた取組を実施。



点滴かんがい



環境制御装置

②省力化

うめの防除に当たってはドローンを導入して、省力化を図っており、背負い式動噴の使用時と比べ園内移動時の身体への負担軽減を実感。今後は大型ドローンの導入も検討している。



ドローン防除

③地域への貢献

近隣の農家有志とともにドローンを活用した水稻の防除支援事業を展開し、地域農業への貢献を図っている。

令和4年1月に株式会社「千香音.firm（チカネドットファーム）」を設立。従業員の常時雇用と研修生を受け入れて、地域経済にも貢献。

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業

関係市町：和歌山県田辺市及びみなべ町

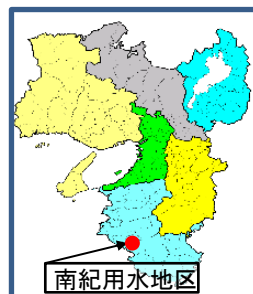
受益面積：1,790ha

事業期間：昭和48年～平成7年

事業目的：用水改良、畑かん 等

主要工事：ダム1箇所、頭首工改修1箇所、
用水路L=27.9km、揚水機改修4箇所

位置図



<問い合わせ先>

近畿農政局

農村振興部農地整備課

電話：075-451-9161

（内線2528）

（令和6年度調査時点）